

エマージェンシー(緊急時)トイレキットを 災害発生時に備えて、全ての管理受託物件に備蓄。

穴吹コミュニティ(香川県高松市/代表取締役社長 乃村 潔)では、当社独自の分譲マンション管理サービスにおける危機管理対策の一つとして、災害発生時の停電によって生じるトイレの使用不能に備えるために、エマージェンシートイレキットを全国1,165棟の分譲マンション管理受託物件に配布し、備蓄を進めてまいりますのでお知らせいたします。

■ 備蓄推進の背景

災害発生時に水洗トイレが使用できなくなる状態は、地震のみならず、台風やゲリラ豪雨といった停電を伴う災害時に発生することがあります。昨今、防災意識の高まりから、災害対策の備蓄品として、水や非常食、燃料などは、管理組合や個人でも備えをされているところが増えてきました。しかし、停電や浸水により、ポンプなどの機器が停止した場合に備えた、緊急時のトイレの対策まで準備しているマンションは少ないのが現状です。

当社では、昨年7月の会社創立20周年を機に、記念事業を行うにあたり、「本当にお客様のお役に立てることは何か」を社内で種々検討しておりました。その結論として、全国規模で事業を展開しているマンション管理会社として、今後は災害発生への備えが重要になってくると判断し、中でも見落とされがちな「災害発生時のトイレ問題」に注目して製品の検討を行ってまいりました。そして、本年2月以降、株式会社防災備蓄センターと協力して、4月から全国の管理受託物件に配布し、備蓄をおこなう準備を進めておりました。

エマージェンシートイレキットは製造面で震災の影響を受けたことで、配布が遅れておりましたが、6月に入り、配布できる環境が整いましたので、全国の当社管理物件の管理組合(理事会)様に趣旨説明をさせていただき、ご了解を得たうえで、各物件への備蓄を進めております。

このたびのエマージェンシートイレキット(備蓄品)については、配布物件での使用に限定せず、災害発生時には、近隣エリアの備蓄品を当社が一時的に回収し、被災エリアの救援物資として配送するといった互助的な活用方法についても、多くの管理組合様よりご賛同を頂いております。

当社では、関連会社である穴吹工務店の分譲マンション「サーパス」のみならず、一般

物件も含めた全ての新規管理受託物件に同様の備蓄をご提案させていただく予定です。

尚、このたび配布備蓄を行っている商品「エマージェンシートイレキット」のご提供を頂いている株式会社防災備蓄センターでは、防災事業に携わっている企業として、東日本大震災の被災地復興のために、「エマージェンシートイレキット」の売上の中から1セットあたり50円の寄付※をされることを発表されており、当社が今回購入する12,000セット分の売上についても、同様の寄付を行うことを申し出ていただいております。

■エマージェンシートイレキット

災害などの断水時に安心・安全なトイレ環境を整備する7アイテム

※当社備蓄品は、一部仕様が異なります。



- ①ダイナモライト（電池不要のダイナモ充電式ライト。停電時の明かり確保に使用。）
- ②エマージェンシートイレ袋（1枚ずつ取り出せる安心・清潔を重視したティッシュ・ボックスタイプ。大小共用で約500ccのし尿を収容。袋は結んで処理可能な巾着式。30枚）
- ③凝固材ポリマー（エマージェンシートイレ袋専用のし尿をゼリー状に固めるポリマー。使用した袋の中に、凝固剤を適量ふりかけて使用。45回分）
- ④ポップアップ式ゴミ袋（使用したエマージェンシートイレキットの専用ゴミ箱として使用。）
- ⑤除菌ジェル（手指の除菌に。手のひらに取り、乾燥するまですり合わせて使用。）
- ⑥トイレトーパー
- ⑦生理用ナプキン

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社穴吹コミュニティ

広報兼営業企画 担当：河村

〒760-0008 香川県高松市中野町29-7 穴吹第16高松栗林ビル

TEL：087-812-2001/FAX：087-812-2005

穴吹コミュニティホームページ：<http://www.anabuki-community.com>

e-mail：kawamura-kazuhiro@cmt.y.anabuki.co.jp

■「エマージェンシートイレキット」に関するお問い合わせ先

株式会社防災備蓄センター Web <http://www.bb-center.co.jp>

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町6-6 小倉ビル

TEL：03-5651-1262/FAX：03-3663-1013

担当：事業推進部 野崎 E-mail：info@bb-center.co.jp